

2023



旧年中は格別のご高配を賜り誠にありがとうございました。
本年も、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

池田記念美術館職員一同

◆新春の展覧会

新年は1月6日金曜日から開館いたします。最初の展覧会は毎年恒例の「南魚沼郡市児童生徒美術展」です。南魚沼市と湯沢町の子どもたちの絵や立体作品を展示します。子どもたちの絵や立体作品を展示した絵は感動や驚きが画面に溢れ、生き生きとしてとても新鮮に感じます。

当館では子どもたちにアートに触れてもらいたいと、出前授業やワークショップ、子どもたちの作品を展示する展覧会を多数開催しています。子どもたちにとって表現することが身近であるよう、様々な機会を提供することが美術館の仕事であると思いますので、今後ともこういった活動を続けていきたいです。新春にふさわしい楽しい展覧会です。

また、1月21日からは「魚沼ベストショット展 Part XII」と6回目となる「錯覚展 2023」杉原教授の不思議な世界が開催されます。魚沼は魅力的な風景や人の宝庫です。そんな魚沼をテーマにしたベストショットを展示する写真展と、大好評の錯覚展です。ぜひご高覧ください。(広田かおり)

◆真冬のイベント

旧年中はお世話になり、ありがとうございました。本年もよろしくお願ひ申し上げます。一年の始まりに、イケビの恒例となった真冬のクラフトマーケット「一箱雪見展&古本市」をたぐいまれ開催しております。感染症対策により、無人の展示販売となって2回目の

開催となりますが、今年もかわいいお店約40店舗が出店中です。「南魚沼郡市児童生徒美術展」の会期にあわせて1月17日(火)まで毎日開催しているので、雪景色を見ながらゆつくりのんびり、お買い物を楽しんでください。手仕事の作品をたくさん揃えて皆さまのご来場をお待ちしています。

古本市では個性豊かな古本屋さんからりと並んでいます。昨年は初めての試みとしてアートに関する古本だけを販売した「ミュージアムブックシヨップ」を開催して、こちらも好評でした。

また、毎年人気の「一年後に届く夢ポスト」も設置しています。未来の自分に届く手紙を書いてみてはいかがでしょう。

小さなワイン箱に広がる手作りの作品、古本の世界をお楽しみください。きっと、ステキな品に出合えると思います。なお、最終日は午後3時までとなっております。(山口加奈子)

◆抱負は「一歩ずつ確実に進む」

明けましておめでとうございます。昨年は当館初のクラウドファンディングに挑戦しました。171名の方々から当初の目標金額を上回る大きなご支援をいただき、本当にありがとうございました。子どもたちが主役の文化活動を進める地域密着型のプロジェクトがスタートし、今年も継続して実施いたします。

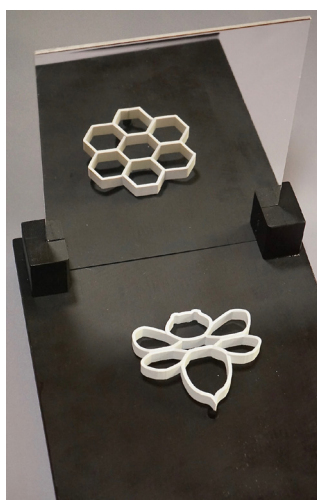
その中の一つに哲学対話があります。当館での哲学対話は展示作品を見て、感じたことを自由に発言し、他の人の意見を聞き、お互いに質問し、理解を深め、自分と他の人との違いを認め合う力を育てます。浦佐認定こども園や小学校、高校の子どもたちや生徒が参加してくれました。講師は立教大学教授の河野哲也先生です。昨年ご来館された日は、箱根駅伝の予選会で立教大学が55年ぶりの本大

会出場を決めた翌日だったので、駅伝の話で盛り上がりました。お正月は魚沼の地から声援を送りたいと思います。(佐藤良子)

◆卯年を迎えて

毎回、大人気の「錯覚展」が1月21日から始まります。明治大学研究特別教授、杉原厚吉先生は昨年の二科展彫刻部門に初出品し、なんと作品2点が入選しました。初日の午後には特別講演会を開催しますので、お楽しみに。美術館では先生が制作した2023年の錯覚カレンダーを無料配布中です。

次に、浦佐の普光寺は毘沙門堂の裸押し合大祭で広く知られていますが、その楼門には江戸幕府の御用絵師を務めた板谷家の五代・桂舟弘延(一八二〇―一五九)が描いた天井画と額絵が残されています。天井画は飛天図二十三面と鳳凰図一面、額絵は出山釈迦図一面と十六羅漢図八面からなり、どちらも着色された板絵の逸品です。冬の豪雪や夏の蒸し暑さにも長く耐えてきましたが、現在、専門家による緻密な修復作業が県内の工房で進行中です。今年度いっぱいはその事業が完了するため、楼門に戻す前に美術館で4月22日から5月28日まで一般公開することになりました。普段は拝観できない楼門の天上面と額絵ですが、間近で目にするまたとない機会となります。ご期待ください。(高橋良一)



鏡の手前に蜂がいますが、鏡に映ると、蜂の巣に姿が変身しています。巣に帰っていく蜂が見えます。2022年の二科展彫刻部門に入選した杉原教授の錯視作品です

■第67回 南魚沼都市児童生徒美術展

◎1階企画展示室、多目的ホール ◎期間：1月6日（金）～1月17日（火）

南魚沼市及び湯沢町の児童生徒の作品約400点を展示。期間中は全館無料です。

主催：南魚沼都市教育振興会 工芸美術部

■一箱雪見展&古本市

◎エントランスホール ◎期間：1月6日（金）～1月17日（火）

真冬のクラフトマーケット「雪見展」と「古本市」を同時開催で今年も開催します。無人販売

の約40店舗が出展。期間が長いので、お好きな時にご来館ください。

■魚沼ベストショット展 Part Ⅱ

◎1階企画展示室、2階展示室Ⅰ ◎期間：1月21日（土）～3月5日（日）

県内外の出展者が美しい風景の宝庫である魚沼に魅せられて撮影した自慢のベストショットを発表。県展や市展などの入選者も多く、年々レベルアップ。今年で12回目の開催です。

【関連イベント】

■1月21日（土）

10：00～11：00 出展者による作品解説会（展示室）

■2月11日（土・祝）

13：00～14：00 出展者による作品解説会（展示室）

■【冬季特別展示】第6回 錯覚展2023—杉原教授の不思議な世界—

◎1階多目的ホール ◎期間：1月21日（土）～4月16日（日）

東大名誉教授、明治大学研究特別教授で、世界中の研究者が覇を競うベスト錯覚コンテストで何度も優勝実績を持つ、錯視研究の第一人者、杉原厚吉先生が制作した作品を約50点展示します。今回で6回目の開催となる、イケビの名物展覧会です。杉原教授は2022年の第106回二科展にも挑戦して見事、彫刻部門で初入選を果たしました。その作品も紹介します。

【関連イベント】

■1月21日（土）

13：30～15：00 杉原教授の特別講演会「不思議な錯覚世界」（エントランスホール）

鏡に映すと姿が変わったり、玉が坂道を上っていくように見えたりする錯覚という現象を数学を使って解明する杉原教授が、錯覚の仕組みを映像を使って分かりやすく解説します。

■3月12日（日）

9：00～15：00 「雪の錯覚すべり台」大公開！（八海山麓スキー場）一日限り！

八海山麓スキー場（南魚沼市荒金）の冬季イベント「ホワイトカーニバル」に協賛して、今年も巨大な「雪の錯覚すべり台」を作ってお披露目します。どんな形になるかは当日までのお楽しみ！高さ9mほどの見晴台から見下ろすと、なんと、ソリが斜面をのぼっていくすべり台です。えっ、そんなことあり？（助成：内田エネルギー科学振興財団）

■創立70周年記念 白象展

◎1階企画展示室、2階展示室Ⅰ ◎期間：3月11日（土）～4月16日（日）

魚沼市の絵画団体、白象会の70周年記念展となります。会員の力作多数を展示します。

■1月、2月、3月の休館日

【1月】1月1日～5日、11日、18日～20日、25日 ※17日（火）15時閉館

【2月】2月1日、8日、15日、22日

【3月】3月1日、6日～10日、15日、22日、29日 ※5日（日）15時閉館

池田記念美術館 南魚沼市浦佐5493-3（八色の森公園内）
TEL 025-780-4080 / FAX 025-777-3815
【冬季開館時間】9：30～17：00（入館受付は16：30まで）
【休館日】水曜日 【入館料】一般500円（高校生以下無料）
【ホームページ】<http://www.ikedart.jp/>

アクセス
上越新幹線JR浦佐駅東口より約1km、徒歩15分
関越自動車道大和スマートICより車3分
六日町ICより車15分、小出ICより車10分



冬季開館時間の変更

9：30～17：00

期間：3月31日まで

（4月1日から9：00開館）

1月6日～1月17日

イケビは全館無料！

スポーツ&ライフ南魚沼 文化教室 受講者募集中！

会場：池田記念美術館

冬のフラワーアレンジメント

日程：1/18、2/15、3/15

時間：15：30～17：00

講師：馬場久美子さん
（福井屋花店）

料金：10,500円（全3回）

エアロヨガ教室

日程：1/12・26、2/16、
3/16

時間：19：30～20：30

講師：高橋みゆきさん
（Happyエアロピクス）

料金：3,000円（全4回）

詳細は美術館まで
025-780-4080

スポーツウェア出張販売

■会場■

八海山麓スキー場
サイクリングターミナル

■日時■

1月13日（金）
13：30～16：00

1月14日（土）
10：00～15：00

美術館で販売中の
ANYONEのスポーツウェア！
ご購入の方には、イケビから
新年のお年玉プレゼント！